News Letter

2025年 7月

中国四国農政局
鳥 取 県 拠 点

「鮮度」にこだわり、「もうかる農業」を目指す！
～　梨・柿の生産に取り組む農業者　～

鳥取県八頭町は県東南部に位置し、梨や柿を中心に果樹の生産が盛んで「フルーツの里」とも呼ばれています。その八頭町で梨と柿の栽培をされている、丸山翔吾（31）さんをご紹介します。

丸山翔吾さん

丸山さんは、就農されて現在7年目。鳥取県立農業大学校で学び、卒業後は農協に4年半勤めたのち就農されました。現在、奥様と2人で梨は65aで新甘泉や秋甘泉、王秋、甘太を、柿は14aで輝太郎を栽培されています。

丸山さんが育てた鮮度抜群の果実

栽培のこだわり

栽培において一番大切にされているのは「鮮度」。そのため、常に適期の収穫を心掛けているとのこと。また、日々の作業も「効率重視」を意識されており、梨のジョイント栽培や梨園への網掛けなど、積極的に省力化に取り組まれています。また、農繁期に雇用するアルバイトの方でもやりやすい作業方法になるように心掛けているとのことでした。

目指すのは「もうかる農業」

丸山さんが目指しているのは「もうかる農業」です。「良いものを作れば高く売れる。それを叶えられずに苦労している農家は大変多いですが、私自身が良いものを作り、高く売ることを実現して、新たに農業を始める方たちのモデルになりたい。」と話されます。

「八頭町は梨や柿の生産に適した地域で、農業関連の支援も手厚く、行政も力になってくれます。所属する組合や同年代の生産者とも日々情報交換をし、皆で協力して生産に取り組めています。

農家になりたいと考えている方は、将来どのくらいの規模の農家になりたいか、自分でイメージをもって始めることが大事で、イメージを持つことで、やるべきことが見えてくると思います。自分で規模を決められ、そのために自分なりに創意工夫できることが農業の魅力だと思います。」と丸山さんは力強く話されました。

ジョイント栽培を取り入れた丸山さんの梨園

インフォメーション

米の生産者の皆様！生産意向アンケートにご協力をお願いします。

農林水産省は、令和9年度（2027年度）から実施する水田政策の見直しを含め、今後の米政策を検討するに当たり、全ての米の生産者の皆様(※)を対象に今後（来年、5年後、10年後）の米の生産意向を実施しています。

※ 米の販売農家・農業法人その他経営体

ぜひ、左記2次元バーコード又は下記URLから7月31日（木）までにアンケートに回答いただきますよう、ご協力をお願いします。

https://forms.office.com/r/8mhBjG9n0i

本アンケートに記載いただく個人情報は、法及び訓令に則り農林水産省が厳重に管理し、米政策の在り方を検討する目的にのみ用いるものです。アンケート結果については、個人を特定できない形で集計し、上記目的の範囲で関係機関へ提供・公表することを予定しております。

農作業中の熱中症に気を付けましょう!!

毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡されており、その約85%が7～8月に発生しています。

熱中症が疑われる場合には

① 作業を中断

（代表的な症状）
- 汗をかかない、体が熱い
- めまい、吐き気、頭痛
- 倦怠感、判断力低下

② 応急処置

- 涼しい環境へ避難
- 衣服をゆるめ体を冷やす
- 水分・塩分を補給

③ 病院へ

応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう!!

日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう！

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。
編集：中国四国農政局　鳥取県拠点
〒680-0845　鳥取市富安2丁目89番地4　鳥取第1地方合同庁舎
TEL (0857)22-3131(内線613)　<農政局HP> https://www.maff.go.jp/chushi/
◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html